



平成28年6月17日

文京区立文林中学校

スクールカウンセラー

松井洋子 岩渕匡彦

相談室だより Vol.2

運動会も終わり、定期考査が近づいているこの頃です。学校生活にも慣れて、少し気持ちがゆるんでいるということはありませんか？ 今回の相談室だよりでは、生活の『基本の「き」』あいさつと返事の大切さについてお話しします。

あいさつと返事の重要性

明治27年に生まれ平成4年に97歳で亡くなった哲学者、森信三さん（元神戸大学教授）が著書の中でこう言っています。

1. 毎朝、親に対して必ずあいさつをすること。
2. 親ごさんから呼ばれたら、必ず「ハイ」と返事をすること。
3. 席を立ったら必ずイスを入れ、はきものを脱いだら必ずそろえる。

最初の2点は「人間としての絶対基本」と森先生は言っています。明治の背筋のぴんとした哲学者のおもかげが浮かびますね。わたしたちも繰り返し親や先生方から言われてきましたが、しっかり身についているかどうかは、あやしい部分もあります。3番目の「イスを入れる」は3年生が高校の面接を受けるときに大切になってきます。

「はきものを脱いだら必ずそろえる」は、実行すれば気持ちよいのですが、「必ず」というと自信がありません。みなさんはいかがですか？ 初心に立ち返って一緒に実行しましょう。

出典：10代のための人間学 著者 森 信三

致知出版社

★ この本は文林中の図書室にあります。

＜相談予約の取り方＞

○スクールカウンセラーが来校している日は、直接スクールカウンセラーに予約をお取りください。

○スクールカウンセラーが来校していない日は、担任の先生か副校長先生、または保健の先生に電話などで予約をお取りください。

松井洋子 毎週金曜日

岩渕匡彦 毎週月・木曜日

予約可能時間帯 9時～16時（相談時間：約50分）

学校☎ (03)－3827－7671

文責：松井洋子